

# 安倍川の渇水概要(3月22日時点)

補足資料

## 渇水状況

- ・静岡河川事務所では、瀬切れの断続的な発生のため昨年12月10日より渇水対策支部を設置し河川監視を強化してきました。また、静岡市では1月19日から安倍川渇水対策準備室を設置し、節水の呼びかけが行われました。
- ・その後、2～3月の降雨は416mm・平年比115%程度(3/22現在)で、発生していた瀬切れが解消されるなど流況が改善し、3月15日に静岡市の安倍川渇水対策準備室が解散されたため、3月22日17時より渇水対策支部を解散しました。

## 河川の流況

・安西橋下流側(瀬切区間ア)

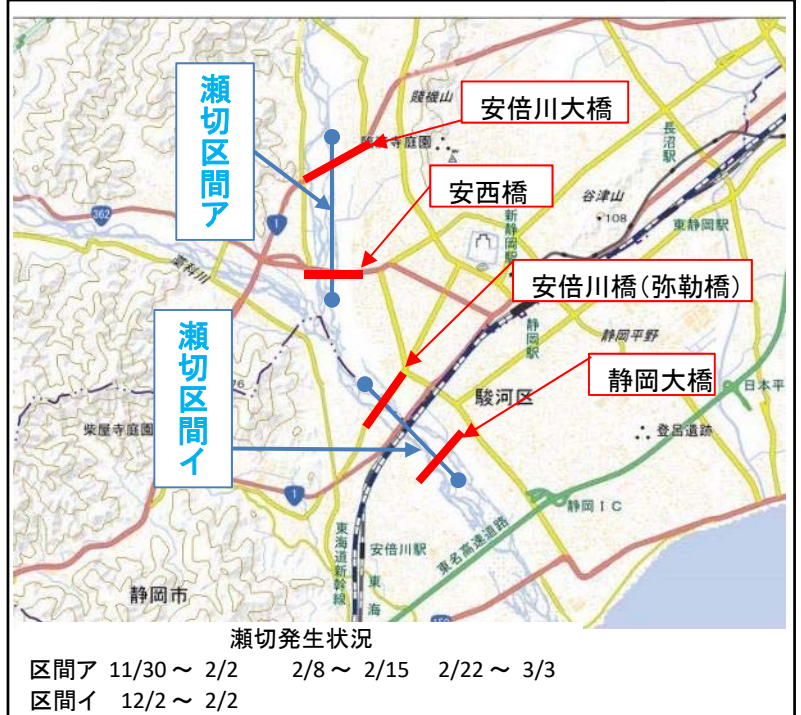


今年1/3  
瀬切状況  
←

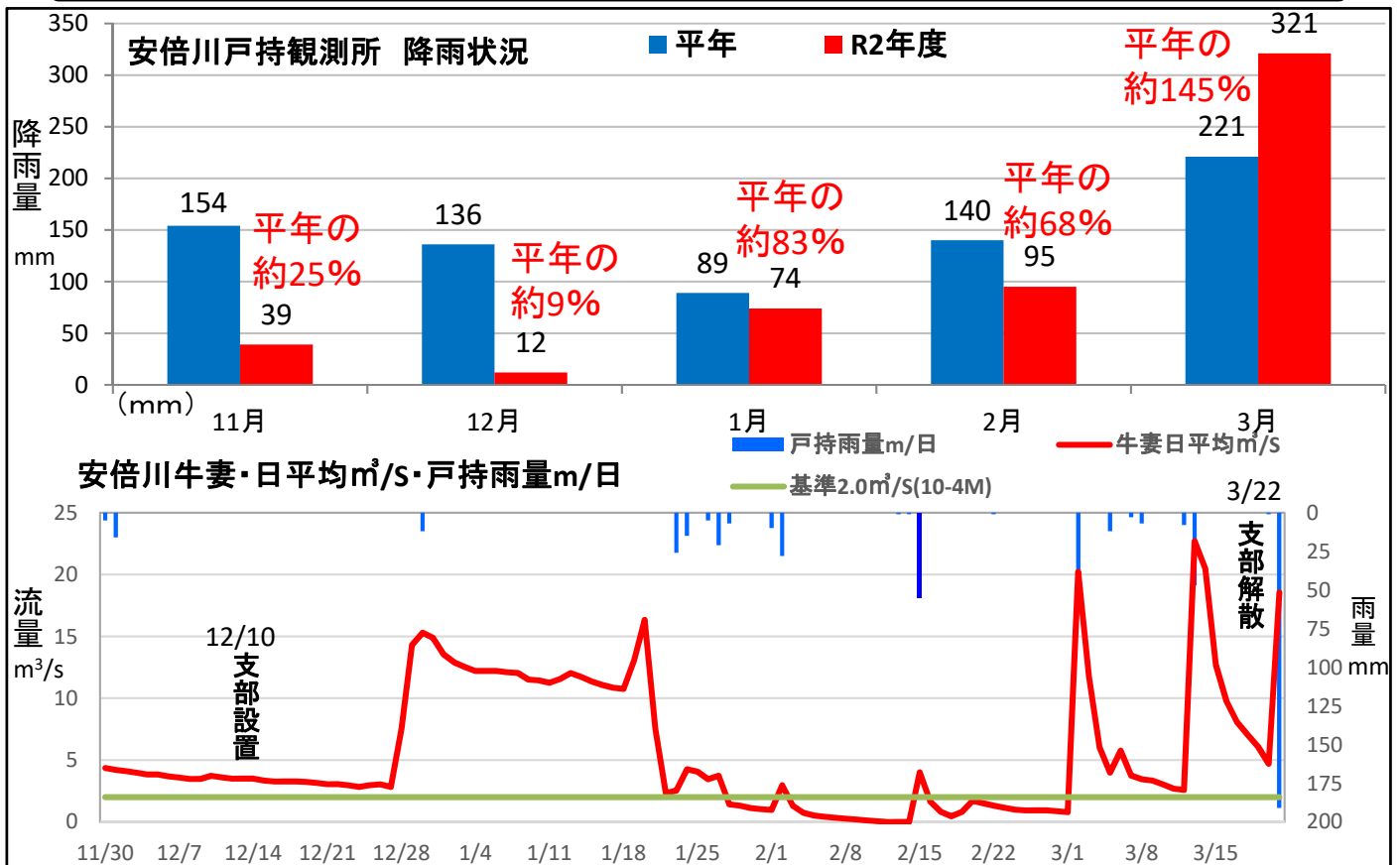


今年3/19  
流況状況  
→

## 安倍川の瀬切れ発生個所と状況



## 安倍川戸持観測所地点の降雨、牛妻観測所の流況等

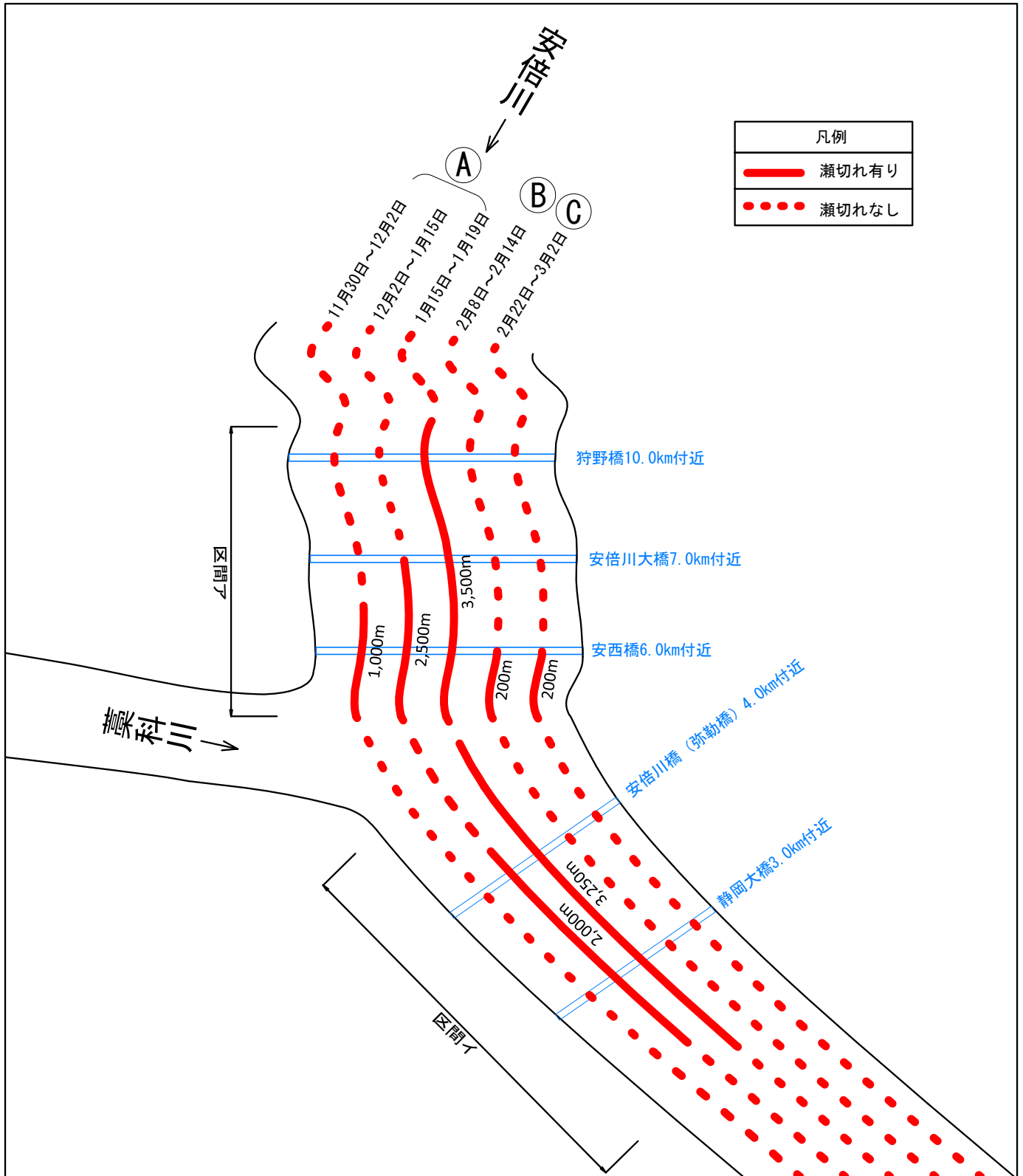


## 安倍川の瀬切れ概要

・安倍川の瀬切れは、11月30日区間アにおいて、1,000mが確認された事に始まり、12月2日には、区間ア:2,500m、区間イ:2,000mが確認され、1月15日には期間中最大となる、区間ア:3,500m、区間イ:3,250mが確認されました。その後、2月2日には一度解消されましたが、2月8日より再び、区間ア:200mが確認され、その後2月15日に解消し、再度2月22日に区間ア:200mが確認され、3月3日に解消しました。

## 安倍川の瀬切れ発生の推移

(令和2年11月30日～令和3年3月3日)



## 水質調査の概要

12月10日からの渇水を受け静岡河川事務所では、水質調査や流量観測などの頻度を増やすなど、安倍川本川の監視体制を強化しました。水質調査は、4つの生活環境項目を週1回、曙橋(静岡市葵区牛妻地先)と安倍川橋(静岡市駿河区手越地先)で実施しました。「生活環境項目」とは、川や海などの水の「汚れ」について、物理的(pH、SS等)な面、あるいは生物の生育環境(BOD、DO等)の面からみた水質の環境基準が設定されている項目です。

## 安倍川での水質調査地点



## 4つの生活環境項目

### pH: 水素イオン濃度指数(Hydrogen Ion Concentration Index)

水溶液の酸性、アルカリ性の度合いを表す指標です。  
pHが7のときに中性、7を超えるとアルカリ性、7未満では酸性を表し、河川水は通常pH6.5-8.5を示します。  
流域の地質、生活排水などの人為汚染、夏期における植物プランクトンの光合成等によって変化します。

### DO: 溶存酸素

(Dissolved Oxygen)

水中に溶解している酸素の量です。  
一般に魚介類が生存するためには3mg/L以上、好気性微生物が活発に活動するためには、2mg/L以上が必要であり、それ以下では悪臭物質が発生します。酸素の溶解度は水温、塩分、気圧等に影響され、水温の上昇につれて小さくなります。

### SS: 「浮遊物質量」あるいは「懸濁物質量」

(Suspended Solid)

水中に浮遊又は懸濁している直径2mm以下の物質の量です。  
プランクトンなどの生物の死骸や糞やその分解物、これらに付着する微生物などの有機物、粘土微粒子などの無機物が含まれています。  
SSの値が大きいほど、水の透明度などの外観が悪化するほか、魚のえら呼吸や水中植物の光合成に影響することもあります。

### BOD: 生物化学的酸素要求量

(Biochemical Oxygen Demand)

水中の有機物が微生物の働きによって分解されるときに消費される酸素量です。10mg/L以上で悪臭の発生等がみられます。

赤字: 水質調査地点

緑字: 流量観測地点



# 水質調査結果の概要

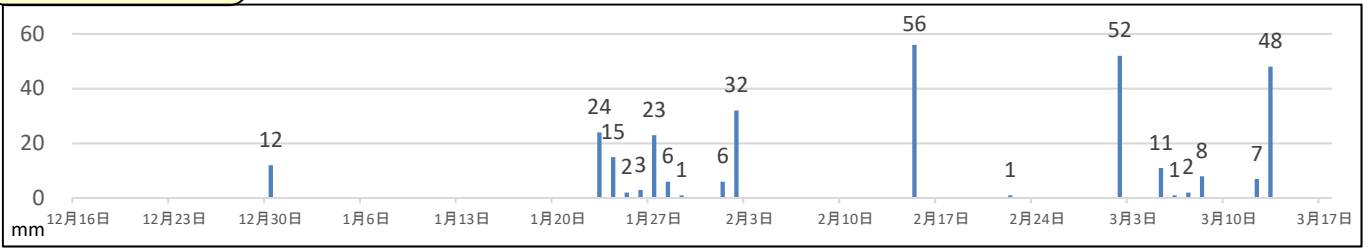
国土交通省 静岡河川事務所  
長島ダム管理所

速報値

- ・PH、BOD、DOについては、期間を通じて概ね環境基準値を満足していました。
- ・SSについては、降雨の多い時期に一部、基準値を上回る状況が確認されました。

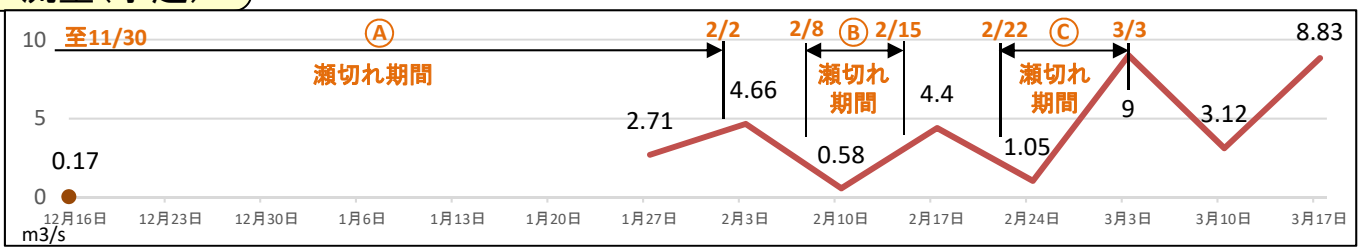
## 雨量(戸持)

令和2年12月16日～令和3年3月17日 雨量



## 流量(手越)

令和2年12月16日～令和3年3月17日 流量



## 水質調査の結果(曙橋・安倍川橋地点)

令和2年12月16日～令和3年3月17日 水質

